

新教科書の観点別編集の特色

令和3年度用「技術・家庭 家庭分野」文部科学省検定済教科書

9 開隆堂 家庭 703

1. 教育基本法(2条)との関連

検討の観点	内容の特色	具体頁の例 (P.)
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	○知識や技能の確実な習得のために、基礎・基本を重視し、段階的な題材が設定されている。	全体
	○日常生活の中でなぜそうするのか、という問いかけを設定し、生活を科学的にみて、真理を探究する態度を養うことが目指されている。	28・29, 42, 73, 75, 82~87, 109, 116~121, 124~129, 132~135, 177, 216 他
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	○家庭生活に関する題材では家族や家庭の大切さが記述され、消費生活に関する題材では働いて収入を得ることに関して記述され、家庭実践に結びつくようにされている。個々に主体的に取り組む「生活の課題と実践」について、豊富な題材例が巻末にまとめて示され、創造性・自主性・自律性が養える。	18~25, 32・33, 35, 52, 53, 56・57, 230~233, 266~277 他
	○製作や実習では、生徒が課題をもって目的に合わせたものの製作・実習に取り組めるように設定されている。	116~121, 124~129, 132~139, 144・145, 148, 175, 188~195 他
	○職業観を養い、社会に目を向けられるよう、実際に働いているいろいろな職種の方からのメッセージを各所に入れているので、キャリア教育にも関連させられる。	21, 24, 37, 44, 66, 73, 150, 154, 186, 203・204, 224, 249, 261, 264, 278, 279
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	○地域の人々と共に協力して生活することが、くり返し記述されている。	18, 20, 33, 52・53, 56~63 他
	○全体を通して、特に写真やイラスト等では、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように表現されている。随所に設けた課題では、主体的に社会の形成に参画する手段や方法を考えさせられるようになっている。	18~21, 165, 173, 208, 278, 279 他
生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	○自然を大切にし、環境を保全することの大切さに気付き、実践できるように、各題材においても主体的に取り組む態度を養えるようになっている。	208・209, 258~261, 277 他
	○持続可能な社会の構築の視点から、教科書全体にわたって環境マークを用いるとともに、各内容の章末に「持続可能な○○生活」の項が設けられている。環境の視点を入れ、環境保全に寄与する態度を身につけることが目指されている。	64・65, 152・153, 202・203, 222・223, 256~263 他
伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	○和食や郷土料理、伝統的な民家や和服などを取り上げ、また日本全国各地の伝統文化の事例を充実させ、我が国の独自の文化と先人の工夫に気づき、愛着をもつとともに、日本人としての誇りが育まれるようになっている。	40, 109, 131, 140~145, 160・161, 166~169, 186, 188・189, 192, 209, 261, 282・283, 287
	○内容ごとに、世界に目を向け、世界的視野から物事を把握し、考えられるようになっていくとともに、世代の異なる人や他国の人びとを尊重する態度が養える。	55, 57, 64・65, 73, 96・97, 140, 152・153, 166, 202・203, 262・263, 284・285

2. 学習指導要領との関連

【目標との関連】

検討の観点	内容の特色	具体頁の例 (P.)
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。	○生活の営みに係る見方・考え方の観点をいつも確認しながら、それぞれの題材の中で、実践的・体験的な活動を通してよりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力が育まれるように構成されている。	6, 7, 10, 11, 25, 41, 53, 63, 67, 77, 95, 105, 139, 145, 151, 155, 173, 185, 195, 205, 213, 221, 225, 233, 243, 254, 255, 263, 265, 270~277 他
(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	○家族・家庭の機能について、仕事や社会の仕組みなどを通して、理解が深められるようになっている。 ○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて生活の自立に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能が確実に定着するように、紙面での表現が工夫されて、身に付けられるようになっている。	2~5, 18~21, 75, 82~95, 105~113, 116~140, 144, 145, 147~149, 155, 173~175, 180~185, 188~201, 213, 216, 221, 223, 225, 243, 254・255, 260, 263, 265, 272~277 他
(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	○生徒の日常生活の中から問題を見出し、課題を設定することができるように、ヒントを提示し、主体的にさまざまな解決方法を考える手立てが示されている。実践し、実践を評価・改善して考えを発表するためのいろいろな手法を用いて、主体的・対話的・深い学びを通して課題を解決する力が養える。	266~277
(3) 自分と家族・家庭生活や地域との関わりを考え、家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。	○家族や家庭生活と地域の人びととの関わりを考え、家族と家庭生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養うため、題材を工夫して配置がされている。	18~25, 56~65, 270・271

[内容構成との関連]

検討の観点	内容の特色	具体頁の例 (P.)
内容構成に関する対応	○学習指導要領の「家庭分野の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」が明確に整理され、個に応じた創意ある学習指導が展開できる構成である。	16~65, 72~153, 162~203, 208~223, 230~263
	○学習指導要領の内容 A・B・C を関連付けて学習できるように工夫して構成され、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるように、適切な配慮がされている。	12~67, 68~225, 226~265
	○生活の営みに係る見方・考え方に示された視点が全体を通して展開されている。	25, 41, 53, 63, 77, 95, 105, 145 他
	○家庭分野の3つの内容A, B, Cが空間軸と時間軸で整理されており、空間軸の視点である自己と家族・家庭・地域と、時間軸の視点であるこれまでの生活及び現在とこれからのつながりやすく記述されている。	2・3, 16・17, 20, 25~27, 52~59, 72~76, 80・81, 140~144, 164, 165 他
ガイダンスや「A家族・家庭生活」の(4)生活の課題と実践に関する対応	○ガイダンスが冒頭のページに設けられていて、小学校の学習をふり返り、小学校や他教科との関連に気づき、3年間の学習の見通しがもてるようになっている。	i~3
	○A(4), B(7), C(3)の生活の課題と実践については、生徒が家庭や地域で実践できるように実践の進め方やまとめ方が掲載されているので計画を立てやすい。また多種多様な課題例が豊富(12例)に紹介されていることも生徒が課題の設定と実践のイメージをもちやすく工夫されている。	270~277
家族・家庭生活に関する内容の充実への対応	○家族や幼児・高齢者など異なる世代の人たちと関わり、地域の中で共に生活する視点で項目が構成されている。	32~63, 72・73, 144, 208, 211, 214・215 他
食育の推進に関する内容の充実への対応	○食事の役割について考え、調理の基礎を習得し、栄養を考えた食事の献立を立てることができるよう、ステップアップしながら学習が進められる題材構成になっている。	72・73, 94・95, 106~139, 146~151
	○自らの食習慣を見直して食生活を改善するなど、健康に過ごすための実践的な態度が育てられる。	74~77
	○「中学生に必要な栄養素を満たす食事」の学習が、実感を伴って理解できるように「体に入った栄養素のゆくえ」の図化や、「1日にとりたい食品と分量」を実物大写真で示すなどの工夫がされている。	78・79, 88~93
	○地域の食文化について、「和食の特徴」にもふれ、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されている。	140~145
	○食事のマナーや食物アレルギーについても取り上げられている。特に食物アレルギーに関しては、「いのちを守る視点」を重視している。また、調理実習の材料について、アレルギー物質を含む材料を調理例ごとに明記している。	102, 113, 116~121, 124~129, 132~139
日本の生活文化に関する内容の充実への対応	○日本の生活文化について衣食住の各内容で取り上げ、生徒の生活する地域との関わりや先人の知恵から学ぶ視点で理解することができるようになっている。また、「伝統文化マーク」が日本の伝統的な生活文化を取り上げた箇所につけられてわかりやすい。	131, 140~145, 166~169, 209, 212, 282, 287
消費者教育に関する内容の充実への対応	○消費者教育として基本的に共通することをいねいに取り扱っているほか、他の学習内容と関連付けて取り扱い、消費者としての実践的態度が身に付けられるように工夫されている。	230, 231, 233, 239, 241, 244, 245, 251, 260, 262
	○消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって活動できるように工夫した構成になっている。	230, 233, 237, 239, 243, 247, 249, 251, 254, 255
	○持続可能な社会に向けた消費行動、環境への影響を考えることができ、消費生活に必要な情報の収集・整理ができるつくりとなっている。SDGsの視点を根底に据えながら、生徒が自立した消費者として消費者市民社会の中で取り組めるように、具体的に示している。	257, 258, 260, 262
基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実への対応	○基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が厳選して的確に記述され、易から難へと確実な習得ができるようによく工夫されている。	18~25, 28~41, 56~63, 72~77, 80~87, 98~109 他
	○調理や製作などの実習手順図は、生徒の視線の流れ、特別支援教育を考慮して見開きページを使って横に流れる記述で、基礎・基本を習得するための適切な配慮がされている。	109, 116~121, 123~129, 132~135, 182, 183, 188~195, 198~201
	○調理の実際において、「調理方法 Q & A」が設定され、科学的根拠に基づいた知識・技能が図られるようになっている。	116~121, 124~129, 132~135
	○技能面の写真は詳細かつわかりやすくいねいに表現され、細部については拡大写真やイラストを添えるなどして、きわめて適切な配慮がされている。特に調理の手順については、すべて写真で示されているので、生徒が状態を確認しながら作業を進められる。	109~113, 116~121, 123~129, 132~135, 168, 169, 174, 182~184, 188~201
知識及び技能を実生活で活用するための内容の充実への対応	○学習で習得した知識及び技能などを実生活で活用するために「生活の課題と実践」として多種多様な課題が豊富に設定され、実践的な活動が家庭や地域などで行える。	266~277
	○学習のまとまりごとに、「ふり返り」、「生活にいかそう」の欄が設けてあり、学習の自己評価ができるとともに、身に付いた知識や技能などを生活にいかすことのできる仕組みになっている。	25, 41, 53, 63, 77, 95, 105, 139, 145, 151, 173, 185, 195, 213, 221, 233, 243, 254・255, 263
生活の営みに係る見方・考え方と関連をはかるための対応	○生活の営みに係る見方・考え方が教科書全体に貫かれており、一連の学習過程の中で「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせることのできる構成になっている。	25, 41, 53, 63, 77, 95, 105, 145 他

3. 学習指導上の効果や編成

検討の観点	内容の特色	具体頁の例 (P.)
生徒の主体的・対話的な学習への工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとまりごとに見直しをもち、生活の中から課題を見つけられるような本文の記述や課題が配置され、主体的に課題に取り組めるように工夫がされている。また、項目の導入では、生徒の身近な話題を用いながら生徒がそれぞれの学習に興味・関心をもって取り組めるようになっている。 ○生徒同士で対話をしたり意見を交換できるような学習活動（アクティブ・ラーニング）を多数取り入れており、生徒同士や家族・身近な人たちとの会話なども通して考えを明確にするなど、生徒自らの考えを広げて深められるような仕組みになっている。 	16, 18, 20, 22, 25, 26, 28, 30, 32, 36, 38, 41・42, 44, 50, 52・53, 56, 58, 60, 62・63 他
段階的な内容項目の配列がされ、順序性は適切で工夫されているか。	○基礎的・基本的な知識・技能を適切に習得できるように配列が工夫されている。地域や学校事情等によって順序の組み換えがしやすく工夫されている。	16～65, 72～153, 162～203, 208～223, 230～263
各項目に相当する授業実数及び内容の分量は適切であるか。	○各内容、各項目に相当する授業数に応じて、分量が適切に配列されている。	16～65, 72～153, 162～203, 208～223, 230～263
持続可能な社会の構築 (SDGs) への対応は適切か	○各内容の章末に「持続可能○○生活」の節が設けられ、持続可能な社会を目指して、考え行動できるように取り上げられている。	64, 152, 202, 222, 256～263
内容・項目の系統性は適切であるか。	○それぞれの学習がストーリー性を考慮して配列されている。	16～65, 72～153, 162～203, 208～223, 230～263
	○各内容・項目とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、生徒の思考の流れに沿って、教科の特徴が無理なく具体化されている。	16～65, 72～153, 162～203, 208～223, 230～263
主体的・対話的活動や言語活動が充実し、深い学びへの工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などさまざまな言語活動ができるように設定されており、学んだ知識や技能を生活にいかす際に工夫する能力につながっている。また観察や実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、考察・発表等の場面で学習過程の各所に設定されている。 ○主体的・対話的・深い学びができるしくみになっている。 	19, 21, 23, 25, 31, 35, 36, 38, 39, 41, 42, 43, 50, 53, 57, 59, 61, 63, 64, 72, 75, 77, 81, 95, 97, 101, 105, 109, 142, 151 他
図表・写真・イラスト等は学習の内容に関連して適切に用いられているか。	○課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける、科学的な資料が、効果的な表現や分量・大きさで示されている。	19, 21, 29, 64, 73, 75, 76, 78, 79, 82～93, 98, 100, 103, 105 他
各種マーク・キャラクター	○生徒が関心や意欲をもって主体的に楽しく学習を進められるように、目立ちやすいマークが効果的に用いられている。また、キャラクターが登場して、疑問を投げかけたりつまずきやすい内容について注意を喚起したりして、学習上きわめて効果的である。	19, 21, 23, 25, 30, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 41, 42, 43, 44, 49, 50, 53, 57, 59, 61, 63, 64, 66, 72 他
	○中学生キャラクターや、学習案内キャラクターを活用して、学習に取り組みやすいように工夫されている。	9, 25, 30, 34, 44, 49, 51, 72, 74, 75, 77, 79, 80, 82, 83, 94, 104 他
現代的な話題や課題などを取り上げて、生徒が関心をもって学習に取り組めるような工夫がなされているか (オリンピック・パラリンピックなど)。	○パラリンピックやオリンピックに関連した資料や、それらに関係の深い人へのインタビューなどを取りあげ、中学生が関心をもって学習に取り組めるようになっている。	27, 154, 179
発展的に学習する内容の工夫がなされているか。	○発展的な学習内容には「発展マーク」を付して明確になっている。	34, 54, 140, 179, 203, 257, 263, 280, 284
問題解決的な学習は、どのように扱われているか。	○全体を通して①問題発見→②課題設定→③計画→④実践→⑤評価・改善の順で学習を進めることによって、問題解決的な学習に取り組めるつくりが一貫している。	16～25, 26～41, 42～53, 56～63, 72～77, 80～95, 98～105 他
URL の記載や QR コードの記載によって、学習に効果的なコンテンツの提供がなされているか。	○項目や、実習・製作の頁に QR コードを記載することによって生徒がより主体的に学習に取り組めるように工夫されている。	23, 29, 31, 33, 35, 37, 41, 47, 55, 59, 77, 85, 87, 95, 107, 109, 111 他

4. 配慮事項

検討の観点	内容の特色	具体頁の例 (P.)
小学校・高等学校との連携への配慮がなされているか。	○小学校の学習と関連する項目の冒頭に「小学校での学び」を設け、小学校で学んだ学習をふり返り、中学校の学習にいかせるようになっている。また、高等学校に関連が深い内容は「発展」として扱われている。	18, 22, 34, 54, 56, 72, 82, 130, 140, 146, 162, 174 他
特別の教科 道徳との連携についての配慮がなされているか。	○道徳と関連する内容には、他教科との関連マークとともに、具体的事項が示されている。	25, 55, 201
他教科、技術分野との連携についての配慮がなされているか。	○他教科と関連するページに、「他教科・他分野との関連マーク」をつけて、具体的事項が示されている。	21, 23, 25, 29, 43, 55, 57, 59, 65, 73, 75, 77, 79 他
	○奇数ページの右上には、それぞれの内容に関連する写真と名称が記載されており、生徒の興味・関心を促す工夫がされている。	17, 19, 21, 23, 25, 27, 29, 31, 33, 35, 37, 39, 41, 43, 45 他
日本の伝統的な文化についての配慮がなされているか。	○衣食住などの内容を関連させ、日本の伝統的な文化に関する内容が多数掲載されている。また、伝統文化を紹介している箇所には「伝統マーク」を付している。	7, 10, 40, 131, 140～145, 160・161, 166～169, 184, 186, 209, 282・283, 287

地域性への配慮がなされているか。	○衣食住などの生活における地域性への配慮が十分にされている。 ○家族・家庭生活、地域の関わりが具体的活動から理解できるように示されているとともに、地域での生徒の生活と関連付けた学習が展開できる。	123, 131, 142, 143, 173, 186, 209, 218 他
	○生徒の目が地域に向き、地域の人びととの関わりの大切さを理解し、中学生が取り組める具体的な活動例が盛り込まれている。	52・53, 56~63 他
	○地域性をいかした食材や調理例（郷土食・行事食）が伝統文化と関連を図りながら取り上げられ、それぞれの地域での工夫がしやすい。	123, 131, 140~145 他
安全・防災教育への配慮がなされているか。	○調理実習・製作実習等の際の安全について基本的事項としてまとめて適する場所に配置されている。また、「安全マーク」が付してある。保育実習での配慮もされている。	37, 44, 111~113, 117, 132, 135, 139, 152, 153, 180, 197, 201
	○防災について、本文での記述に加えて、本文以外にも特設頁を設けて、日常的な備えの重要性などについての記述がされている。また、防災関連の実習・製作例も取り上げられている。	57, 190, 214~221, 274, 292~299
	○防災に関する事項には「防災マーク」が付してある。	218~220
食物アレルギーへの対応がなされているか。	○食物アレルギーに対する正確な理解が得られる記述が本文にあり、食物アレルギーを含む食材についての情報が、調理実習例に具体的に記述されている。	102・103, 116, 118, 120・121, 124, 126, 128・129, 132~139, 267
調理実習等に対して衛生上の配慮はなされているか。	○調理実習における衛生面での記述が充実しており、特に注意を促すところには衛生マークが付せられている。	107, 113, 115, 117, 119~121, 123, 125~129, 133・134, 148
環境・共生への配慮がなされているか。	○全体を通して学習内容と環境を関連付けて取り扱い、実践の態度が身に付けられるように細かい配慮がされている。環境に配慮する視点の箇所には「環境マーク」が付されている。	56, 64・65, 96, 98, 106・107, 142, 143, 202・203, 209 他
	○環境を考えて物をいかして使う工夫の3つの視点（3R）に「断る」「修理して使う」の視点も加えた5Rが明確に記述されている。SDGsの、人へのまなざしの視点が充実して取り上げられている。	7, 64・65, 203, 223, 260, 262・263 他
	○男女の区別や障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることを前提にして、記述や課題の設定・写真や図が工夫されている。	i・ii, 2~7, 18~25, 58~63, 165, 173 他
キャリア教育についての配慮がなされているか。	○多種多様な職種で働いている人へのインタビューなどを取りあげ、進路のヒントやキャリア教育につながるように工夫されている。	21, 24, 37, 44, 66, 73, 150, 154, 186, 203・204, 224, 249, 261, 264, 278, 279
プログラミング教育への配慮がなされているか。	○身の回りにある電化製品（電気洗濯機）のプログラミングについて紹介されている。	181
コンピュータや情報通信ネットワークの活用がなされているか。	○コンピュータや情報通信ネットワークを使用して情報収集したり学んだことを発表したりして活用する場面が掲載されている。	237, 239, 249
カラーユニバーサルデザインに関する配慮がなされているか。	○カラーバリアフリーの観点から、図やグラフの輪郭や配色など、弱視の子どもたちに読み取りやすい配慮がされている。 ○一般財団法人日本色彩研究所による校閲がなされている。	38をはじめとして全体
特別支援の観点に配慮がなされているか。	○実習・製作を横流れに統一して作業手順を明確にしている。 ○「項目名」、「学習の目標」、「ふり返し」、「生活にいかそう」など、それぞれ学習内容が呼応できるような紙面構成や配置などから、スムーズに関連性が理解できるようになっている。	116~121, 124~129, 132~135, 144・145, 168・169, 174・175, 180~184, 188~195, 198, 254・255 26~41をはじめとして全体
	○本文と参考、資料等の区分も明確になっていて、生徒に伝わり、見開きページが有効に活用されていて、扱いやすい教科書となっている。	28・29をはじめとして全体

5. 造本や体裁

検討の観点	内容の特色
印刷は鮮明で見やすいものであるか。	○印刷は鮮明で、カラー効果がいかされている。 ○再生紙を使用すると共に、植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。
製本は堅牢で使いやすいものであるか。	○製本は極めて堅牢で、表紙には水に強い加工が施され、長期の使用に耐えるものとなっている。
文字の書体や大きさは、児童の発達段階を考慮したものになっているか。	○読みやすい書体・大きさを生徒の発達段階に考慮したものとなっている。 ○UDフォントを使用して、特別支援を必要とする生徒への配慮がされている。
文章表現は適切であるか。表現の工夫はなされているか。	○です・ます調のソフトな表現で、具体的にかつ正確に表記されている。 ○中学校で学習する漢字については、見開きページごとの初出箇所にふりかをつけている。 ○重要語句は太字（ゴシック体）にして、表記のめりはりをつけている。 ○本文では文節が途中で途切れないような分かち書きが意識され、生徒が読みやすく、特別支援への対応も配慮されている。 ○タイトル名は、学習がイメージでき課題意識を高める表現になっている。
環境に配慮されているか。	○印刷に使うインクは植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。
表紙は魅力的なものであるか。	○いろいろな人たちの生活場面を、環境とも関連させながら描いた楽しく夢のある表紙で提示され、ガイダンスの入り口として活用できる。
レイアウトは見やすく、学習しやすい工夫がなされているか。	○実習や製作は横流れに展開されており、生徒が主体的に学べるレイアウトになっている。 ○特別な支援を要する生徒にとって、学習の流れが統一的に示されていることによって、安心して落ち着いて学習に取り組むことができる。